

コチラから
バックナンバーが
閲覧できます



○様ご家族と設計担当の中込(上段左)



優建築工房 お宅訪問

一言芳恩

一言芳恩（いちさんほうおん）：あの時、ひとこと声をかけていただいた感謝を忘れずに・・・

町田市 ○様邸 新築 陸屋根と切妻屋根の家の7年後 光のバランスを考えた優しい陽射しの入る家



きっかけとご要望

住宅公園も見に行きましたが、妻が優さんのチラシを見て気に入り家計簿にずっと挟んで取っていたりして連絡をしたのがきっかけです。そこからは妻の強い要望で優さんと一緒に土地探しから家づくりが始まりました。出来るだけ広いワンルーム的なLDKと階段はリビングに設けることが一番の要望でした。

お家の特徴

外観

特徴的な外観は、道路斜線制限により建物高に制限がある土地のため、屋根の形状が制限内に納まるよう陸屋根と切妻屋根と2つの形状となりました。

小さめな南窓～敢えて一步引いた窓計画～

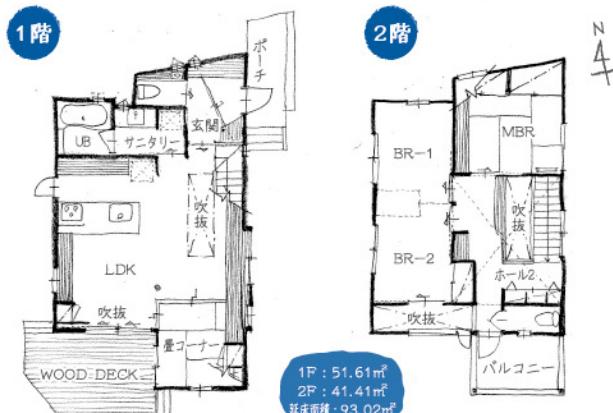
通常、南側の窓は大きく開口したいところですが、目の前が道路のため、プライバシーを考え、畳コーナーに小さな窓と一步引いたデッキ側に大きめな窓、そして小さな吹き抜けを二箇所設けることで十分な採光を確保しました。

光のバランス

南面に設けた小さな吹き抜けから光を抑えつつ明るすぎず心地よい陽射しが入る計画です。吹き抜けから漏れる明るい光と障子越しの優しい光が穏やかなりビング空間を作ります。

玄関の位置

玄関を奥に設けることで南側に大きなワンルーム的空間と2台分の駐車場を確保しました。ポストも庭の中のため不要なポスティング防止にもなっています。



どこにもないこだわりの造作ポスト



外からは普通のポストですが、玄関側のベンチスペースに新聞や手紙類が溜まる作るにしています。旅行中でもポストが溢れることなく防犯的にも便利です。



お子様の宿題をする場所もリビングに設けました



雨が続く日も困らないよう室内物干しは階段上の吹き抜けと脱衣室の二箇所に設けました

工事中の思い出

台風が着工時期に来た際は、土地と一緒に探してくれた蓮実さんが現地を確認に行ってくれて、安心してくださいと報告をくれたことや、電気関係の仕事をしていて他所の現場にも詳しい父が、大工さんが現場をとてもきれいに整頓や掃除をしていることに驚き、褒めていたこともあり、とても安心してお任せできました。

暮らしてみて

子供がアトピーのためカーテンは避けたく、障子の提案を頂き採用しました。何處にいても家の雰囲気が大好きで、他所を見てもやっぱり自分のお家が一番！と思ってしまいます。子供の友達も良く遊びに来て木の家だと言って楽しんでくれ息子も家が大好きです。子供連れで友人が遊びに来ても大人はダイニングでお茶、子供は畳で遊んだりお昼寝したり、一段上がっているので見守りやすくちょうど良い距離感です。宿題をするワークスペースも確保でき、機能的で広がりのある家族みんなで過ごせるワンルーム的なLDK空間になっています。完成後に誕生した子の手形も後から入れてもらい、いま子供部屋に間仕切りを入れる工事中です。



のうこうこうじょう

能工巧匠

うちの腕利きの
職人さんを紹介



プロを目指していたバンド仲間は高校の同級生の生形タイルさん(季刊誌No.9掲載)です。仕事中とギャップがありすぎのバンド写真の一一番右が金子さんです。左から二番目が生形さん。

電気工事の仕事が多かったので応募してみたのがきっかけです。もちろん当時は資格もなく、就職できても配線に触れることも許されず下働きから始めました。電気関係でビルの管理会社にも勤めましたが、電気工事士の資格を取得してからは、主に木造住宅の仕事がメインになり、今から7年前に独立しました。電気工事の仕事は配線や照明器具の取付けはもちろん、吹き抜けのシーリングファンの取付なども僕の仕事になります。これは物凄く高い場所に足場もなく脚立を使い一人での取付けなので毎回、恐怖ですし緊張します。当たり前ですが、完成時に照明を全部付けて電気が点いたときは達成感で嬉しい瞬間です。心掛けていることは施主様がいつ来ても危なくない様に整理整頓と掃除をすることです。」と真面目で優しいうちの自慢の電気屋さんです。

電気工事士 金子電工 金子正義さん

今回は電気工事士の金子さんをご紹介。「プロを目指しバンド活動を続け24歳位になった時、もうプロは諦めようと断腸の思いで勤め先を見つけなくては!と一新し、なぜかその時の求人に

Instagram



Follow us!



ホームタグをスキャンしてね

yukobo_kanagawa

施工事例やお知らせを随時してます。フォローお願いします。

ホームページにて
バックナンバーが
閲覧できます

優建築工房の 環境配慮型設計

小さなエコノミーから
大きなエコロジーへ

環境配慮型設計の住宅の実例紹介

～環境配慮型設計の住宅の住まい方 冬編～

前回に引きつづき、環境配慮型設計の住宅の実例をご紹介いたします。当社のホームページに『環境配慮型設計の新築住宅』と

紹介されている実例を、特に季節ごとの住まい方に着目してご説明したいと思います。今回は、冬の暖房時期の住まい方です。

真冬時、薪ストーブ
1台で家中快適

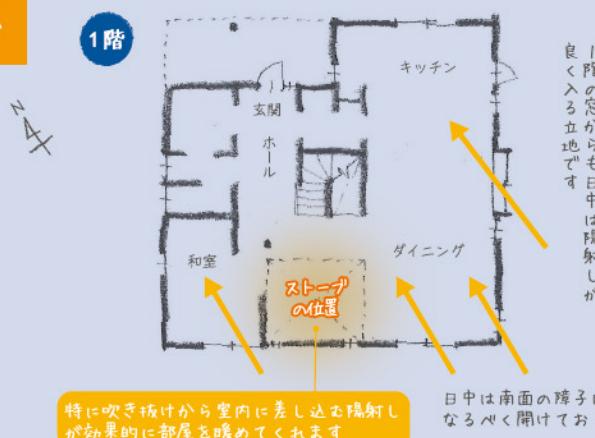
この家の特徴

- ・南面吹抜け下中央に薪ストーブ設置あり、暖気が効率よく家中に広がる間取り
- ・薪ストーブ本体と煙突からの輻射熱も各所で感じられる平面計画
- ・1階天井高さは2.2m、建具高さも2.2m、室内建具は全て引戸採用で下がり壁による空気の滞留がない設計
- ・深く出した軒に冬期の低い傾斜角度での日射を高効率で室内に導く窓配置、開口部には樹脂サッシ+LOW-Eガラスで断熱性能配慮

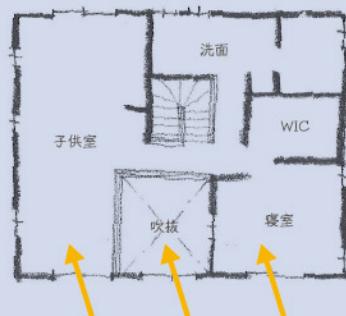


昼

1階



2階



→ 日差し

夜

1階



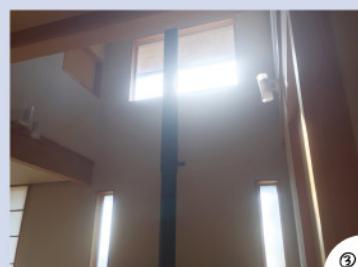
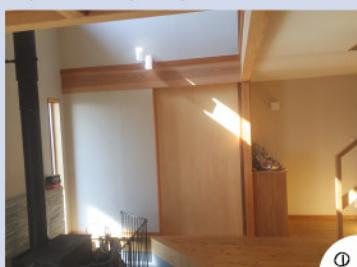
2階



洗面室の引戸も開けておくと
脱衣時にも寒くありません

吹き抜けと階段が1階からの
暖気を効率よく2階の室内へ
も広げてくれるので、
暖房を効率よく2階の室内へ

11月5日 12時の日差し



①

②

③



後悔しない為の 薪ストーブの心得



獨特な柔らかい暖かさが認知され、火を身近に感じる暮らしへの憧れもあって、近年は薪ストーブを設置する住宅が増えているようです。新築時だけでなく、リフォーム時や薪ストーブを設置するだけの工事も出来ますが、採用に際しては様々な注意点があり、効果的に使用するための配慮も必要です。また、薪の入手と保管も重要となります。今回は、薪ストーブの特徴や注意点、メンテナンスなどについてご説明したいと思います。

特徴・効果

機種によって異なりますが、基本的には空気を温めると共に焚火にあたる時のように直接的に熱が伝わる輻射熱での暖房効果が得られるのが特徴です。間取りや断熱性能にもよりますが、神奈川の気候なら延床30坪程度の住まいの暖房を薪ストーブ1台でまかなうことも十分に可能です。

メンテナンス

1か月に数回の灰の撤去と、年に1度程度の煙突掃除、数年に1度は本体の全面的なメンテナンスが必要です。特に触媒の交換(触媒を使用するタイプの場合)と各所のガスケットの交換等は、専門業者へ依頼することをお勧めします

設置場所・内装等

室内のどこに設置するかで効果が大きく変わります。直線的に進む輻射熱と対流する暖まった空気がどのように広がるのかを検討して、設置場所を決めましょう。1階に設置することが多いので、吹抜けや階段室などを介して2階へどのように暖気を伝えるかも重要となります。設置に際しては、本体及び煙突と建物との距離に注意して、所定の範囲内は不燃材を使用するなど、木部の低温炭化に配慮が必要です。内装については法律上の制限もありますが、特に炉壁については蓄熱性の高い素材を使用することで効果的に熱を蓄え、また放出することが出来ます。

薪の入手と保管

良い燃焼を得るために、しっかり乾燥した薪を使用することが最重要です。一般的には、伐採から1年~2年の乾燥期間が必要で、近年ではネット販売なども盛んになっていますが、地元の森林組合などで取り扱っている場合もありますので調べてみてください。また、一定量を保管するスペースが敷地内に必要となりますので、ストーブまで運ぶ距離も考慮して位置を検討しましょう。

導入コスト

機種や煙突の長さによって変わりますが、部材費と設置工事費合わせて100万円~150万円位が目安ですが、設置場所に炉台や炉壁を造る場合は別途費用がかかります。実は、本体より煙突の方がコストがかかる場合も多いのですが、良い燃焼を得るために煙突の断熱性能が高いことはとても重要です。

注意点

魅惑的に揺らめく炎と柔らかな暖かさが魅力的な薪ストーブですが、正しく使用しなければ事故や近隣とのトラブルに繋がりかねません。採用に際しては、近隣との距離及び風向き等の確認、乾燥した薪の確保方法、定期的な自主メンテナンスの知識、長く安心して付き合える専門業者などが不可欠です。是非、これらをふまえて火のある暮らしの豊かさを味わっていただければ幸いです。

優café 優caféは、ご来訪いただくお客様へのお茶のご提供の総称です

理想のお家づくりのため、色々選ぶのは楽しいけれど、とっても疲れるものです。そんな時にカフェのドリンクとデザートでリフレッシュしていただけたら嬉しいです。ドリンクメニューも色々と揃えています。



PRESENT

ソファサイドにちょうど良く寄り添うサイドテーブル
5名様へプレゼント

脚がコの字型になっているので、ソファの下に入れて引き寄せて使うことができます。土台の切れ込み部分に脚を通すとコンパクトに使えます。省スペースで使える便利なサイドテーブルです。



ガラスを下に置いて
便利なコーナーとしても◎



【プレゼント応募】

①お名前 ②〒とご住所 ③電話番号 ④ご感想やご要望(必須)
以上をご記入の上、メール・ハガキ・FAX・TELにてご応募ください。
応募〆切 2/12(水) ご当選者へ発送をもってお知らせ致します。

メール nakamura@yukobo.jp メールの件名に「プレゼント応募」とご記入ください
ハガキ 〒243-0815 厚木市妻田西 1-20-8 優建築工房
yukoboletter プレゼント係
FAX 046-294-4561 TEL ☎ 0120-873-312